

科目番号	51001	分類	履修者	高度実践看護コース	学年			
科目名	クリティカルNP特論 (Introduction to Acute Care Nurse Practitioners)				1			
					配当セメスター			
					前期			
担当者	草間朋子 他7名	区分	必修	単位	1	時間数	15	
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 諸外国におけるNPの現状から日本における高度実践看護師の課題を考える。 またクリティカル領域における高度実践看護師の役割、実践内容を理解する。						○	1. 患者・患者家族のニーズに自律的に対応できる実践能力	
【目標】 1. 日本における高度実践看護師の現状と課題を理解する。 2. クリティカル領域における高度実践看護師の役割と活動を理解する。 3. 諸外国におけるNPの現状から、日本における高度実践看護師の課題を明確にする。 4. 看護師の特定行為研修制度に基づく特定行為実践力を身に付けるための基礎を学ぶ。							○	2. 患者の擁護者として活動できる倫理的意思決定能力
							○	3. 看護・看護学の発展・進化に寄与し社会・時代のニーズに対応した創造的な研究・開発能力
							○	4. 多職種と連携・協働して行われるチーム医療の中で看護職としてのリーダーシップを発揮できる能力
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
第1回	I. 日本における診療看護師の現状と課題 (含む看護師の特定行為に係る研修制度、特定行為関連法規について)						草間 他7名	
第2～6回	II. クリティカル領域における看護の探求 III. クリティカルNPの役割と活動 -NPの経験を通して- IV. NPへの期待(「麻酔学の発展等について」を含む) ・硬膜外麻酔に関する局所解剖 V. 諸外国におけるNP等の歴史と裁量範囲							
第7・8回	VI. 日本におけるクリティカル領域における診療看護師の役割と課題(GWと学習共有)							
第9～11回	VII. 特定行為の実践について ・手順書の位置づけ ・手順書の作成演習 ・手順書の評価と改良 ・特定行為の実践過程の構造 ・アセスメント、仮説検証、意思決定の理論 ・アセスメント、仮説検証、意思決定の演習							
事前・事後学習	事前学習：当日の課題に関し参考図書の内容を予習し理解して授業に参加する。 事後学習：授業の内容を配布資料と参考図書等で復習する。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に組み込むこと。							
評価の方法	プレゼンテーションの内容等および課題レポート(20%)、筆記試験(80%)で総合的に評価する。フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	参考書・資料は適宜に紹介する。							
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							